

な～るほどW. Coの働き方

W. Co新人研修報告

W. Co千葉県連合会の研修システムとして、ワーカーズとして働き始めて1～3年目のメンバーを対象に、各エリア主催で新人研修を開催しました。



京葉エリア

京葉エリアでは、12月4日14名、12月6日6名、1月23日6名と3回の新人研修を開催しました。12月の研修はW. Coメンバーとして1週間から約4年の方まで幅広く、職種も配送、厨房、デポーと様々でした。1月の研修は配送事業のワーカーズ・結市原ランチだけで行いました。

3回とも北田理事長を講師に、自身がW. Coに加入したいきさつや、お互いを認め助け合って働くことなどが話されました。今後の働き方を確認することができる有意義な研修になりました。

京葉エリア事務局 河崎孝子 (企)W. Co「かい」

新人研修の感想

意識改革の必要性が今回の研修における最大のポイントです。中途加入なので、旗揚げ時のメンバーとのギャップを感じる日々!! 全員が平等の立場で尊重し合う参加型組織であり、自主運営、自主管理が基本のW. Co!!

それぞれが受身ではなく、能動的に責任を持って仕事(活動)に取り組んでいく姿勢が重要であると感じました。

京葉エリア (企)W. Co San 一條せん



東葛新人研修の様子

東葛エリア

食関係4名、福祉1名の計5名の参加があり、それぞれ自己紹介とワーカーズになったきっかけなどを話してもらった後、風間副理事長を講師に研修に入りました。

ワーカーズの働き方がなぜ一般の労働と違うのか、それぞれがコミュニケーションをとることで仕事が成立し、それが地域を豊かにしているなどの話がありました。これからワーカーズとしての働き方を実践していく中での参考になったと思います。

東葛エリア事務局 西村憲子 福祉ワーカーズあい

新人研修の感想

W. Coとは、一人ひとりが出資、経営、労働というすべての役割を担うことだと学びました。

アルバイトでいた今までと違い、経営に参加することにより意識の改革を進め、また、地域の状況を常に感じ取り、対応できる柔軟性を持って運営し、永く愛されるお店作りをめざしていきたいと思いました。

東葛エリア W. Co菜の花 橋本純子



下総エリア

下総エリアでは2月27日生活クラブ虹の街センター佐倉にて、参加者2名で「ワーコレとは」のテーマで新人研修を開催しました。

下総エリアには新しい事業所が設立されていますが、そのメンバーは元ワーカーズとして働いていた人達がほとんどなので、今回の研修には既存の事業所に新しくメンバーとして入った方たちが参加しました。「雇われでない、自分達で出資、運営、労働し、地域に必要なものを広げていく」というW. Coの理念を再確認し、地域のニーズに応えられる店舗づくり、街づくりにつなげていきたいと思えます。

下総エリア長 永島光子 W. Co回転木馬・成田

新人研修の感想

・DVD「涼子の選択」の内容は解りやすく、女性として安心して働ける場であることがわかりました。それぞれの事業



回転木馬・成田の伊藤さん



回転木馬と風車に在籍する谷古宇さん

所で同じ思いで働く仲間を知り、心強く思いました。今後、他事業所の見学を企画してもらいたいです。

・以前から回転木馬の存在は知っていましたが、メンバーになるにあたって初めてW. Coという働き方を知りました。このような働き方をしたい人は大勢いるはずなので、もっと世の中にアピールすべきだと思います。

(聞き取り 下総エリア事務局 奈良收子 W. Coハーブ)

W. Co就労に繋がる!

東葛エリア
合同説明会

10月31日、ワーカーズ・コレクティブの合同説明会をW. Coゆうウェルネスにて開催しました。参加者は4名で、各事業所からスタッフとして5名が出席しました。資料に基づいて、北田理事長がW. Coの理念を説明し、各スタッフが自己紹介をかねて、どういった思いで事業を行っているか、またその現状について説明しました。当日は、すぐに起業するという人はいませんでしたが、質問や、参加者自身の思いについても話され、「今すぐに形にはできなくとも、どこかで既存のW. Coが協力できることはないか、考えていきましょう!」ということで結びました。参加者からの感想は、総じて「働く場を作ろう、地域を作ろうという高い志を感じた」というものでした。

後日、説明会に参加した方から問い合わせがあり、25歳の少知的障害のある女性が、W. Co紙ふうせんへの就労へとつながりました。「W. Coのネットワークに感謝します」と言ったその参加者がさらに、W. Coゆうウェルネスのメンバーに加入し、合同説明会の広がりを実感しています。W. Coゆうウェルネス 橋本裕子

W. Co事業所見学へ発展

下総エリア
プレ起業講座報告

下総エリアでは今年度方針に基づき、昨年秋に「地域ニーズに関するアンケート」を実施しました。消費材の購入できる店、地域交流スペース、食関連事業、居場所づくりなどについて、自分でやってみたい、関わってみたい、地域に何かを作りだしたい、との思いを持つ方が多いことがわかりました。

この結果をもとに、2月13日「プレ起業講座」を組み立て、開催しました。アンケート回答者にも案内を出し、子供連れの若いお母さんなど女性3名が参加しました。その中で「居場所づくりをしたいが、どうしたらよいか」との質問があり、実際に居場所づくりを行っている柏のNPO W. Coういず、佐倉のNPO W. Co風車の見学会を実施することにしました。この講座が仲間と出会い、一歩前に進むきっかけになれば、と思えます。

下総エリア事務局 奈良收子 W. Coハーブ

新米W. Coと老舗W. Coの報告

千葉市民向けに「仕事おこし」連続講座の講師に!

2008年に創立された「協同労働の協同組合」ネットワークちば*では、今年度の活動として、一般市民向けに協同労働の実践団体である、ワーカーズコープちば・日本労働者協同組合センター事業団と共に、起業したい人に向けた5回の連続講座を開催しています。W. Coからは働き方に特徴のある食事業を紹介するため、新米W. Coのボナパティと老舗のW. Co菜の花が参加し、新規設立時期に課題となることや、目指すべき食事業のあり方などを話しました。それぞれの特徴が15名程の参加者にもわかりやすく、責任も平等に分担するというW. Co事業の良さが共感できたのではと思います。

W. Co連合会 専務理事 渡辺伽奈

*「協同労働の協同組合」ネットワークちば…人間らしく働き・生活できる地域づくりに貢献する「協同労働の協同組合」法の制定を推進することを目的に、「協同労働」の実践に携わる団体を中心に活動しています。

コミュニティへの貢献とは?

イアン・マクファーソン博士来日フォーラム (WNJ主催)

イアン・マクファーソン博士はアレクサンダー・レイドロー博士の高弟で、現在はヴィクトリア大学名誉教授。同大学内にブリティッシュ・コロニア協同組合研究所を立ち上げ、所長を務め、1989年～93年にはカナダ協同組合連合会初代会長をされた方です。両氏のお名前も知らずに参加しましたが、レイドロー博士が1995年に「21世紀において協同組合は自治と自立、コミュニティへの貢献こそ使命とするべきである」と宣言されたことを聞き、「コミュニティへの貢献」について、ワーカーズの働き方とどう結び付くのか、今後仕事を通して見つけていきたいと思いました。

また、同時に「デポー東村山」の高齢者、子育て中や買い物困難な方への「お届けデポー」への取り組みなど、興味深いお話も聞くことができました。障がいをもった方などと共に働く場として、緩やかな社会参加の実践。市内中学校の職場体験の受け入れも行っています。

私達もこれから新しいW. Coとして出発します。地域に根ざしたデポーの拠点となることを目指し、仲間と共に働いていきたいと思えます。

(企)W. Co「かい」 高橋博子



W. Coを知ってもらおう!

一神奈川W. Co連合会が
DVD「涼子の選択」作成一

主婦が「子どもの手も離れてきたからパートにでも出ようかな…」よくある話ですが、そんな時に会って働きに出た先がW. Coの事業所。働いているうちに「こんなに助け合えてできるものなんだ…」。

働き方の常識が変わる!

これから働こうとする人、また働き方に疑問を持つ人に見てもらいたいDVDです。

※このDVDの購入申込みと貸し出しを行っています。必要な方はW. Co千葉県連合会へお問い合わせください。

